

## 中学校2期制の見直しを



高松幸雄 議員

**教育部長**

この制度は、学力だけの評価ではないが、先ほどの課題を克服するため、実力テストを含め、前期3回、後期3回実施することで学力は向上している。

**質問**

このテストは市内全校で実施しているか。

**教育部長**

佐屋中学、佐織中学、八開中学では現状5回しか実施していない。

**質問**

市内全校で6回に統一しない理由は。

**教育部長**

テストの回数や内容などは、学校長の裁量であるため。

**質問**

佐屋中学校の保護者から、学力テストを市内全校で6回に統一してほしいとの要望や、3期制に戻してほしいとの要望があるが、戻す考えはないか。

**教育部長**

今後、成果と課題を分析して、保護者の理解と協力を得ながら進めていくよう指導していく。

**質問**

生徒・保護者にとって、より良い方法を模索してほしい。どちらの方向で検討するか。

**教育部長**

近隣市町村の状況や全国の動向を把握しながら、生徒および保護者にとって最善の方法を模索していく。

**その他の質問**

- ・ 青少年のインターネット依存対策について
- ・ 青少年の消費者教育の充実について
- ・ 土曜教育の充実について

**質問**

市が中学校2期制を導入した理由は。

**教育部長**

教員は、学期末が近づくと通知表を作成するために非常に多くの時間を要する。通知表を減らすことで、教師にゆとりができ、生徒と向き合う時間がふえる。また、授業時間数が少ない教科の評価期間を長くするため。

**質問**

制度導入から10年経過したが成果と課題は。

**教育部長**

成果は、先生が夏の大会前の部活動に生徒と向き合う集める時間ができた。授業時間数の少ない教科の評価が適正にできた。(先生の声)

課題は、通知表の配布が2回になり目標設定が難しい。前期の成績だけで進路を考

るので、3期制の学校に比べ不利ではないかななどの声がある。(保護者の声)

**質問**

2期制導入で学力は向上したか。

